



令和7年度 これからの 時代と機構改革

令和7年3月定例町議会において、
山上広信町長が令和7年度の町政運営についての
施政方針演説を行いました。
その一部を抜粋して紹介します。



現在我が国は、千年単位で見ても類を見ない人口減少、生成A-等の登場による急激なデジタルの進化、約30年ぶりの物価上昇など大きな時代の変化に直面しています。本町においてもさまざまな課題を抱えており、

そのなかでも人口減少問題は最も重要な課題であると捉えています。「人口減少対策」に取り組むとともに、引き続き「高齢者対策」「交流人口の拡大」「子育て支援」「都市基盤・生活道路の整備」「商工業・農林水産業の振興」など、多方面にわたる施策の推進に取り組むことで、人口を維持し、更なる町の発展に繋がっていくことが可能であると考えています。

ただだけでなく10年後、20年後の時津町のために、どのような施策が必要となるのか、町民の

皆さまと共に考え、これからの時代に合った施策を実施して参ります。

令和7年度は役場の機構改革を行います。「戦略推進課」を新設し、本町の魅力を町内にとどまらず日本全国に発信することでブランド力を高め、地域活性化へ繋げる「シティプロモーション」に関する業務を担います。さらに「施設整備課」を新設し、公共施設全体の現状把握を行い、長期的視点で長寿命化、統廃合、更新などの計画を立て、建築物の老朽化等への対策に取り組めます。また、水道局を建設部に統合し、道路と上下水道の一体的な工事・管理を行います。

高齢者の皆さまの健康と安心な暮らしを守ります。住み慣れた

た地域で、生きがいを持って、健康で穏やかな暮らしができるまちであることが理想です。これまで行ってきた高齢者支援事業の充実を図るとともに、とぎ

つ海と緑の運動公園に「健康遊具」を設置します。併せて、健康づくりのために利用できる「デジタルウォーキングイラストマップ」を作成します。さらに、多くの高齢者の皆さまに参

加いただいている高齢者サロン、地域支え合い事業、高齢者生きがいづくり事業等の活性化を図ります。

交流人口の拡大や規制の見直し、行政のDX化を行います。浦郷ウォーターフロント町営駐車場を時間駐車ができるよう整備し、浦郷商店街の集客力アップや、パークアンドライドによる環境負荷の軽減に努めます。また、土地利用規制の緩和や、国道沿線の容積率緩和に向けた協議を行い、地域に合った開発を進めていくことで、定住人口の拡大を図ります。さらに、デジタル技術活用による住民の利便性向上を図るとともに、高齢者等に向けたスマートフォン講座を実施するなど、デジタル格

差解消に向けた取り組みを行い、多くの方々が行政手続きのデジタル化による利便性を享受できる環境づくりを推進します。

また、安全安心なまちづくりの基本は、各地区のリーダーが声を掛け合い、仲間を作り、住民同士の絆を強めることであると考えます。その後押しをするため、自治活動活性化に向けた支援を行います。

核家族化・少子化社会にあっても、安心して子どもを産み、子どもたちが健やかに暮らすことのできる環境づくりを目指して参ります。令和7年度は「こ

んにちは！赤ちゃん事業」を開始し、出生記念証や絵本のプレゼントを予定しています。また、保護者の負担軽減のため、第二子の保育料無償化や、小中学生のインフルエンザ予防接種の無償化に取り組みます。さらに、北小学校児童保育所の増設、鳴鼓小学校児童保育所の新設移転工事を行います。また、中高生の居場所づくりと、茶屋の更なる活用のため、学習スペースとして茶屋を土日開放するよう協議を進めます。

都市基盤・生活道路の整備に引き続き積極的に取り組んで参ります。進行中である「時津中央第2土地区画整理事業」と「西

時津小島田線（打越工区）」の早期完成を目指します。併せて、「野田郷下山ため池浚渫工事」、「野田川緊急自然災害対策工事」、「西時津地区町道福島線狭あい道路

拡幅工事」、「浜田地区町道島本線冠水対策工事」、「久留里ダム周回道路転石防止工事」等を行います。町民の皆さまに喜んでいただける土地開発に繋げるため、河川環境及び道路環境の整備・強化に取り組みます。

商工業・農林水産業の振興につまましては、「戦略推進課」を新設し、本町の魅力発信や、産業及び特産品等の戦略的な情報発信を行います。引き続き「ふるさと納税」の積極的な取り組みを進め、新たな特産品開発への支援を積極的に行い、商工業者・農林水産業者の所得向上を目指すとともに、商工業・農林水産業の振興を図ります。

金等のランニングコスト削減を図ります。また、「とぎつカナリーホール」の大規模改修事業等に取り組み、誰もが安心して使いやすい公共施設の整備を促進します。

以上のような重点施策を実施するとともに、今年度も「まちづくり懇談会」を開催いたします。町民の皆さまの声を傾け、共に考えることで、あらゆる事業が相乗効果を持って、安全安心な魅力ある時津町になるよう施策を進めて参ります。幸せを感じられる豊かな暮らしを作り続けていくため、町民の皆さまの協力を得ながら「住み続けたいまち とぎつ」になるよう、まちづくりに取り組んで参ります。

議員各位をはじめ、町民皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

【行政情報】町長室 ↓ 施政方針 ↓ 令和7年度 施政方針



▲施政方針の全文は、時津町ホームページに掲載しています。

令和7年度 当初予算

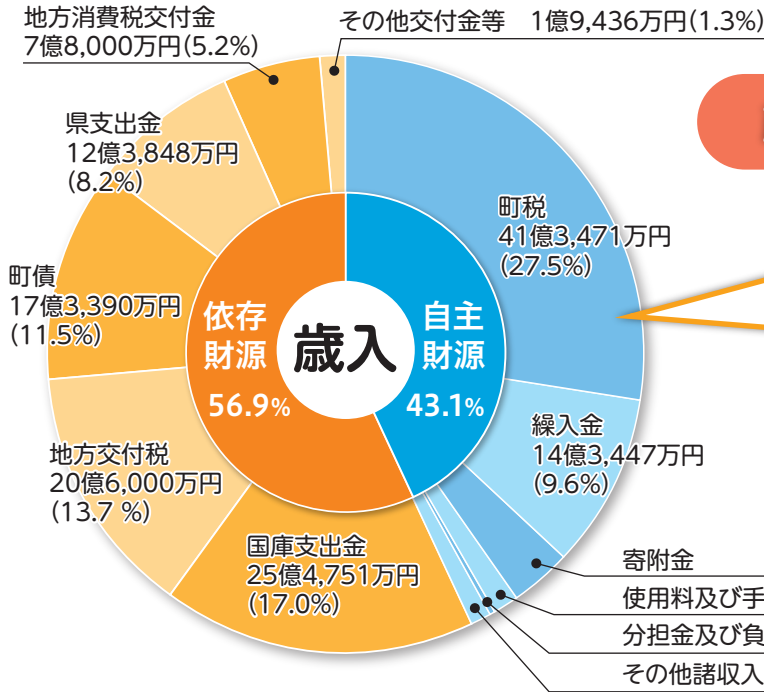
一般会計

150億2,000万円

(前年度比15.7%
20億4,000万円の増)

施政方針に基づき編成した一般会計、特別会計(国民健康保険事業・後期高齢者医療事業・介護保険事業)、公営企業会計(水道事業・下水道事業)の令和7年度当初予算が、定例町議会で議決されましたのでお知らせします。

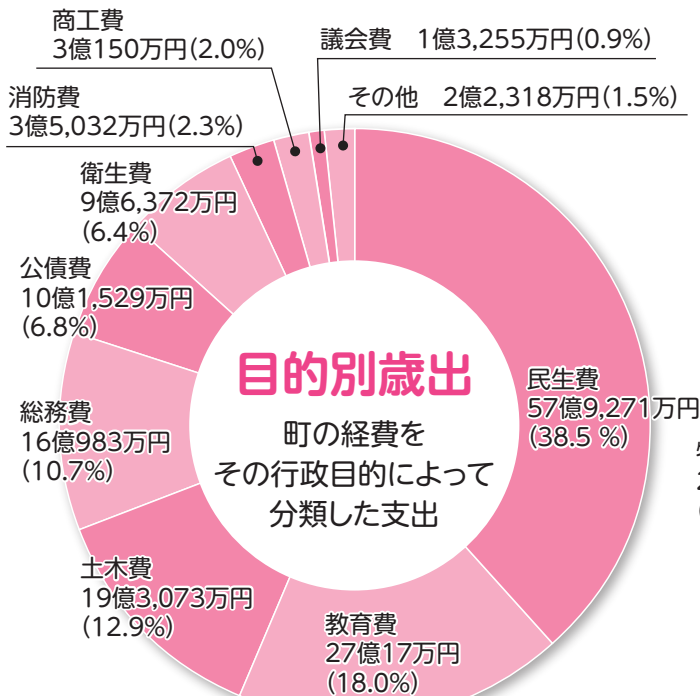
歳入 | 150億2,000万円



町税の内訳

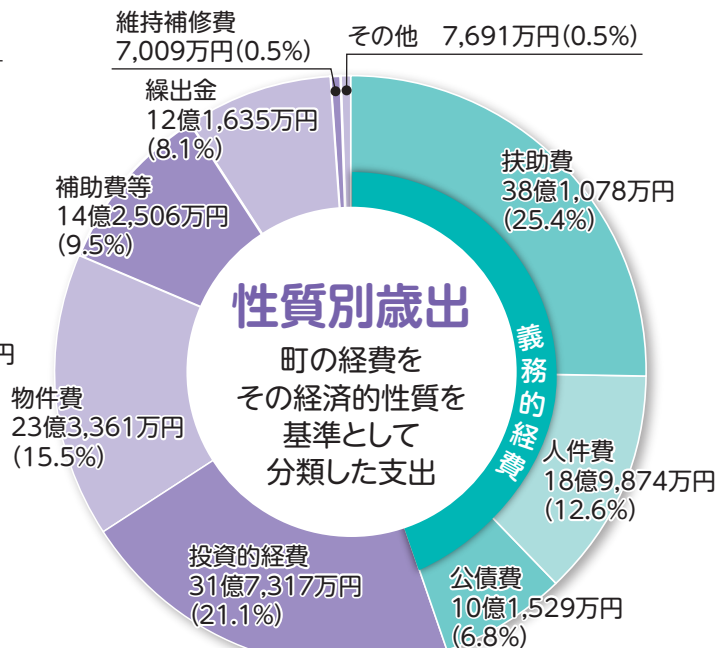
- ・固定資産税 18億93万円 (11.9%)
- ・町民税 16億5,625万円 (11.0%)
- ・都市計画税 3億3,834万円 (2.3%)
- ・町たばこ税 2億1,900万円 (1.5%)
- ・軽自動車税 1億2,019万円 (0.8%)

歳出 | 150億2,000万円



性質別歳出

町の経費を
その経済的性質を
基準として
分類した支出



前年度との比較

令和6年度当初予算と比較したときの主な増加要因は以下のとおりです。

歳出 カナリーホール改修事業
児童手当
施設型給付費（私立保育所等）

皆増（13億4,197万円の増）
7億3,731万円（2億3,354万円の増）
11億7,236万円（1億2,227万円の増）

特色ある事業

総務費（行政サービスの向上など）

- 自治体情報システム標準化・共通化対応事業 …… 1億5,642万円
- 中学生海外派遣事業 …… 1,282万円
- 崎野自然公園棧橋設置事業 …… 1,050万円
- 総合計画策定事業 …… 636万円
- デジタルウォーキングイラストマップ制作事業 …… 351万円

民生費（社会福祉サービスの充実など）

- 福祉医療費現物給付事業（小中学生・高校生世代） …… 9,063万円
- 鳴鼓小学校学童保育所移設新築事業 6,514万円
- 第二子保育料無償化及び第三子以降保育料完全無償化事業 …… 4,445万円
- 高齢者交通費助成事業 …… 2,479万円

衛生費（保健衛生や環境衛生など）

- インフルエンザ予防接種無償化事業（乳幼児・小学生・中学生） …… 1,726万円

農林水産費（農林水産業の振興など）

- 山陰ため池改修事業 …… 3,000万円
- ふるさと時津夢づくり農業振興奨励金 2,645万円

土木費（区画整理、道路のインフラ整備など）

- 第2土地区画整理事業 …… 8億9,379万円
- 西時津小島田線（打越工区）道路事業 1億9,950万円
- 野田川排水対策事業 …… 4,312万円
- 時津町営駐車場（時津港第4駐車場）整備事業 …… 2,465万円

消防費（消防施設整備や消防団活動など）

- 小島田地区防火水槽設置事業 …… 1,931万円

教育費（学校教育や生涯学習の振興など）

- カナリーホール大規模改修事業 13億4,197万円
- 時津公民館改修事業 …… 6,013万円
- 中学校1人1台端末更新事業 …… 5,379万円
- 学校給食食材費補助事業 …… 1,870万円

町民1人あたりに使われているお金は？

518,020円

です。その内訳を見ると…

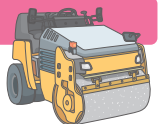
議会費 町議会運営費として

4,572円 令和6年度 3,956円
(増減+616円)



土木費 区画整理、道路等のインフラ整備に

66,588円 令和6年度 60,536円
(増減+6,052円)



総務費 一般行政事務費として

55,521円 令和6年度 37,093円
(増減+18,428円)



消防費 消防活動や消防団育成に

12,082円 令和6年度 12,502円
(増減-420円)



民生費 社会福祉サービスの充実に

199,783円 令和6年度 184,774円
(増減+15,009円)



教育費 学校教育や生涯学習の振興に

93,125円 令和6年度 66,084円
(増減+27,041円)



衛生費 保健サービスや快適な環境づくりに

33,238円 令和6年度 30,975円
(増減+2,263円)



公債費 町の借入金の返済に

35,016円 令和6年 33,501円
(増減+1,515円)



商工費 商工業の振興に

10,398円 令和6年度 9,545円
(増減+853円)



その他 農林水産業の振興や災害復旧に

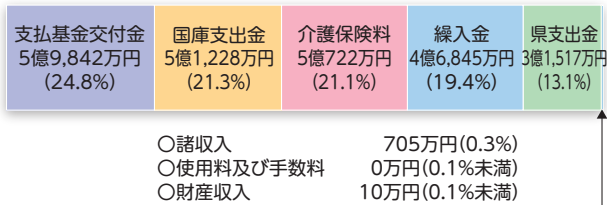
7,697円 令和6年度 4,522円
(増減+3,175円)



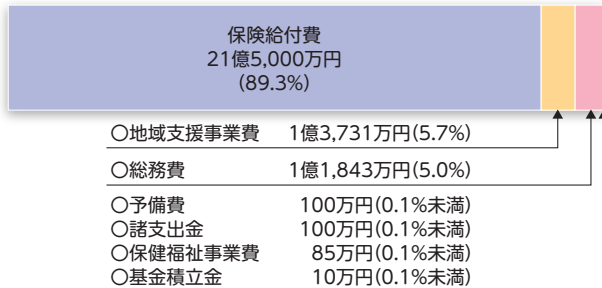
介護保険特別会計 令和7年度予算

介護保険事業 (前年度予算 23億1,782万円、前年度比 103.92%)

●歳入 24億869万円

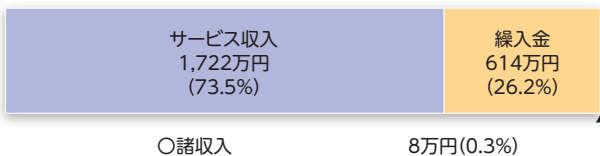


●歳出 24億869万円

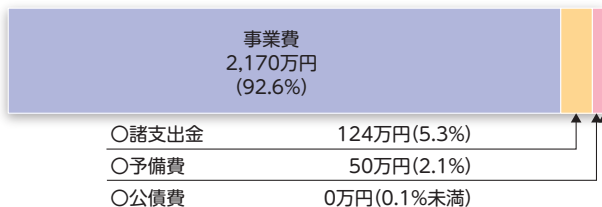


介護サービス事業 (前年度予算 2,158万円、前年度比 108.62%)

●歳入 2,344万円



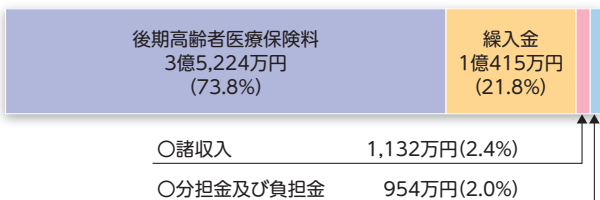
●歳出 2,344万円



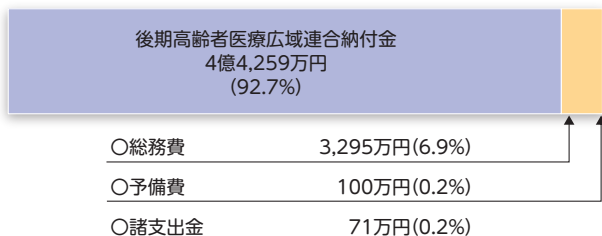
後期高齢者医療特別会計 令和7年度予算

(前年度予算 4億5,818万円、前年度比 104.16%)

●歳入 4億7,725万円



●歳出 4億7,725万円



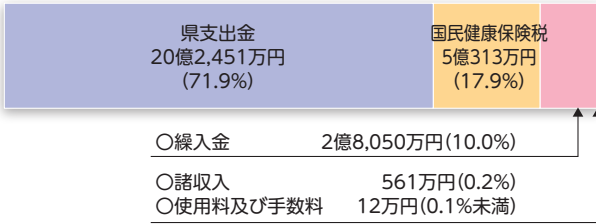
用語の説明

- ①歳入：町における1年間のすべての収入。
- ②歳出：町における1年間のすべての支出。
- ③一般会計：町が行う行政運営の基本的な経費を計上したもの。
- ④特別会計：特定の事業を行う場合に、その特定の事業に対する歳入を歳出にあて、一般会計とは区別されるもの。
- ⑤公営企業会計：事業経営による収入で経費を賄う独立採算制をとる会計。(水道事業会計など)
- ⑥自主財源：町が自主的に収入できる財源。(主に町税など)
- ⑦依存財源：国や県から交付されたり、割り当てられたりする収入の財源。(主に地方交付税、国庫支出金など)
- ⑧町税：固定資産税、町民税など。時津町の歳入の中で一番大きな収入。
- ⑨地方交付税：国税のうち所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税を一定の割合で国が地方に交付するもの。
- ⑩町債：町が各種事業を実施するために国やその他の金融機関から借り入れる資金のことで、通常10年以上かかって返済される。
- ⑪国庫支出金(県支出金)：国(県)が特定の目的のために交付する補助金など。

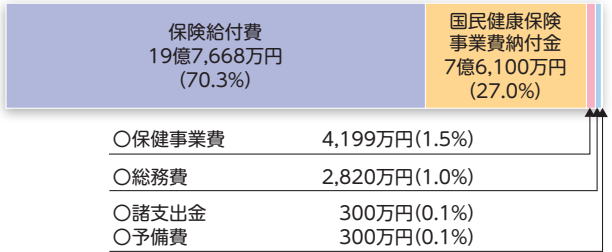
国民健康保険特別会計 令和7年度予算

(前年度予算 27億9,828万円、前年度比 100.56%)

●歳入 28億1,387万円



●歳出 28億1,387万円

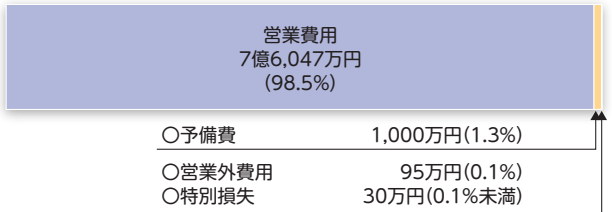


水道事業会計(公営企業会計) 令和7年度予算

●収益的收入 8億4,665万円



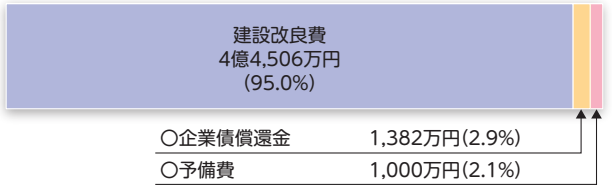
●収益の支出 7億7,173万円



●資本的收入 1億795万円

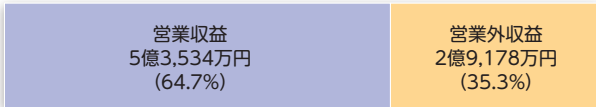


●資本の支出 4億6,888万円

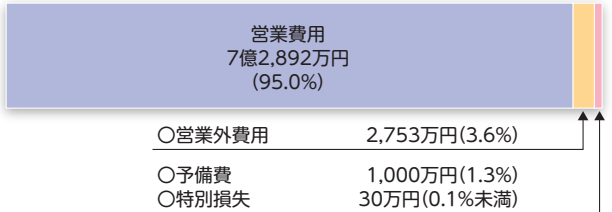


下水道事業会計(公営企業会計) 令和7年度予算

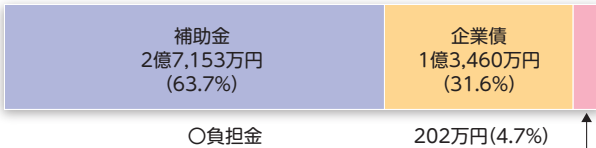
●収益的收入 8億2,713万円



●収益の支出 7億6,675万円



●資本的收入 4億2,637万円



●資本の支出 6億5,446万円

